

高木くん新聞

～江戸川区議会議員

高木ひでたか

による区政報告かわら版～

江戸川区 平成21年度予算確定号



改革 前進

発行元 高木ひでたか事務所

〒132-0024 東京都江戸川区一之江3-18-3
TEL: 03-5661-4608 FAX: 03-5678-1678
E-mail: jimukyoku@takagi-hidetaka.com

江戸川区・平成21年度予算報告！

新規・拡充事業101項目

平成21年度歳出表(20年度との比較)

単位:百万円

科目名	21年度	20年度	増減
議会費	863	859	4
総務費	14,528	13,645	883
区民生活費	14,580	14,076	504
環境費	10,686	10,922	-236
福祉費	82,446	81,316	1,130
健康費	22,414	22,065	349
産業振興費	2,252	2,144	107
都市開発費	3,681	2,586	1,095
土木費	24,102	24,416	-314
教育費	23,183	23,001	183
公債費	2,243	2,395	-153
その他	300	300	0
歳出合計	201,277	197,725	3,552

平成二二年二月二七日から三月十二日まで行われた予算特別委員会の集中審議後、三月二五日の本会議の議決を経て、江戸川区の平成二一年度予算が確定いたしました。それをまづご報告させていただきます。

今年度も前年に引き続き予算全体での編成方針としまして、「未来を担う人づくり」「学びと協働による区民文化づくり」「いきいきとした生活のための健康・福祉の社会づくり」「区民参加による環境づくり」「活力を創造する産業づくり」「区民の暮らしを力づよく支えるまちづくり」「区民方位で効率的な区政運営」

を重点にしています。それにより、平成二一年度の一般会計の歳入歳出額は二〇一二億七百万円で、前年比三十五億円ほどの増額となりました。歳出の内訳と前年との増減額は左表の通りです。

本年度は、昨年来からの厳しい景気後退のなか区でも直接的な税収の増加は見込めないものの、福祉費や健康費の増額を図るために、歳入のなかで特に繰入金を大幅に増やし、予算規模を広げました。

本年度も新規・拡充事業が一〇一項目にもなっており、決して余裕のない区財政の状況の下で、この予算は私なりに大きく評価できるものと確信しています。

江戸川区における平成21年度重要新規および拡充事業として

- 本年度予算で新規および拡充された事業のなかで重要なものとして次の十二項目が挙げられます。
- ① スーパー連携大学院の設立支援
電気通信大学・中央大学・北見工業大学などの国公私立大学十四校が共同で大学院を設置し、区内にキャンパスを置き、中小企業の技術移転や人材輩出などの地域貢献を期待します。
 - ② JR小岩駅の再開発事業
駅前広場・南北周回道路整備などにより「今後百年栄えるまち」を目指すため、整備計画の作成・商業調査などを実施します。
 - ③ ファーマーズクラブ東葛西
現役農家の指導を受けて本格的農作ができる区民農園五〇区画、約三五〇〇㎡を整備します。
 - ④ 学校改築事業
建設後五〇年を経過する学校施設を順次改築していきます。
 - ⑤ 環七シャトルバスの本格運行
バス停留所三箇所の整備および専用バスの導入、バスレーンの走行環境の整備などを行います。
 - ⑥ 区商店街連合会と協力して十五％割引セール
平成二二年四月からの区商店街連合会の五％引セールに合わせ、十％分を区が助成を行います。
 - ⑦ 住宅用火災警報器の設置助成
六十歳以上の熟年者のみ所帯で住民税非課税の場合、寝室用煙感知器の設置を促します。また障害者手帳所持者で住民税非課税所帯の場合も同様の設置の助成をします。
 - ⑧ 新川千本桜整備
新川護岸の耐震補強整備、沿川の緑道整備、江戸文化を醸し出す修景を整備していきます。また新川橋を架け替えるとともに、人道橋・広場橋を架橋していきます。
 - ⑨ 駐輪場の整備
平井駅南口、一之江駅南口、瑞江駅北、西葛西駅東を予定。
 - ⑩ 妊婦健康診査の拡大
i. 健康診査の公費負担を五回から十四回に拡大
ii. 里帰り健診を受けた場合の費用助成も一四回に拡大
iii. 超音波健診の対象年齢制限を撤廃し、すべての妊婦を対象とする
 - ⑪ 区民施設の整備
平井地区区民施設、水辺のスポーツガーデン、子ども未来館、アーチェリー場などを整備します。
 - ⑫ 公園の新設・整備
一之江境川の隣接地を一体的に公園の整備をします。また、くつろぎの家公園に足湯施設を整備するなどを行います。



第1回定例会にて質問に立ちました！

一月二五日、第一回定例会において一般質問に立ちました。その問答は左記の通りです。

質問一 地上波デジタル放送への移行について、区民の理解を高め、迅速に混乱なく移行するため、充分な周知ときめ細かな相談体制が必要なのではないか。

区民の答え 全庁での検討体制を整えた。まずはスムーズに転換できるようPRし、相談に対しては必要なアドバイスをしていく。区施設のテレビは必要性を見極め、買い換えていく。

質問二 現在区民の区への要望で多いものに大震災に対する対策が挙げられます。仮に被災したとして、区民が一刻も早く通常生活を取り戻すことができるようにするために、現在ある都市復興マニュアルに加えて、生活復興マニュアル、産業復興マニュアルなどの整備も必要なのではないか。

区の答え ある種の規制を伴う都市復興のルールは策定済みである。生活復興・産業復興は自助努力によるところが大きい。行政がかかわるイメージをつくっておくことは大切である。

質問三 文化芸術の更なる振興のため、区役所や区民施設の廊下などをギャラリーとして区民の創作する芸術作品の展示をすべきではないか。

区の答え 文化高揚のため、あらゆる努力をする。

質問四 同じような問題を抱えた海外七都市、国内四

都市の参加で平成二〇年十二月に開催された「海抜ゼロメートル世界都市サミット」に対する評価はどうか。また、今後の展望はどのように考えているか。

区の答え 参加国が問題意識や物理的な対応策を共有できたことは、大きな成果であった。是非とも継続していきたい。また「世界水フォーラム」で事例発表を行うなどの拡がりもある。

「スーパー給食」という試み ～子どもたちの食育のために～

有名シェフが給食を調理

近年、好き嫌いを放置することによって起こる食費の滞納、少子化などから子どもが一人でもしか食べない「孤食」が増えていることによる会食不全など、子どもたちを取り巻く環境の中で「食」に関して多くの問題が生じています。

こうした問題の多くは、親子間や学校との子どもたちの交流不足から起きているといえます。

そうしたなか、民間の各分野のシェフたちが、給食現場に実際に乗り込み、従来の予算内で納まるように地産の食材などを使ったメニュー提案から実際に調理して給食を提供し、さらには子どもたちとの会食をするなどのコミュニケーションをとるといった試みが各地で始まっています。

私は、こうした企画を本区でも実施したいと考え、地元企業の協賛を得て、母校である一之江小学校で実施しました。

新たなメニューなどによって子どもたちの苦手な食材の克服をねらうばかりでなく、料理人との実際の交流で食事を作る仕事への理解や感謝の気持ちが高まり、また給食を作る側の意識の向上など具体的な効果が生まれています。こうした試みが、広がっていくことを期待します。

スーパーシェフ



新宿割烹 中嶋
中嶋貞治シェフ



地元協賛企業
(株)スイコウ・(株)ファースト・
露木・赤澤法律事務所・(株)ソ
ニックフロー・山秀商事(株)
(有)コミット



加賀料理 杉の家 やまぐち
山口利和シェフ

高木ひでたか
私のプロフィール

昭和42年3月13日
江戸川区一之江生まれ

略歴

一之江小学校、松江第五中学校卒業
東海大学付属浦安高等学校卒業
東海大学文学部英文科卒業
平成12年 社団法人東京青年会議所 理事・政治行政室室長
平成15年 江戸川区議会議員初当選(現在2期目)
現在 区議会自由民主党 副幹事長
議会運営委員会 理事
生活復興環境委員会 副委員長
自由民主党江戸川総支部 事務局長



”メルマガ「たかぎ君」とく”
登録者大募集！

takagi-kun@yiii.co.jp

上記アドレスに
空メールを送れば登録完了です。

日々の区政活動報告の詳しい内容は、
ホームページを是非見て下さい。

www.takagi-hidetaka.com



高木ひでたか事務所

〒132-0024 東京都江戸川区一之江3-18-3
TEL: 03-5661-4608 FAX: 03-5678-1678
E-mail: jimukyoku@takagi-hidetaka.com